

(2) 生態系の概要

地域の生態系（動植物群）を総合的に把握するために、文献その他の資料により確認された対象事業実施区域及びその周囲の環境及び生物種より、生物とその生息・生育環境の関わり、また、生物相互の関係について代表的な生物種等を選定し、食物連鎖の概要として整理した。食物連鎖模式図は図 3.1-30 のとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲は主に自然林、二次林及び植林地といった樹林、草原・低木林、河辺、耕作地等といった草地環境、河川・池沼といった水域が存在している。

陸域の生態系では、シラカンバーミズナラ群落、トドマツ植林、ススキ群団（Ⅴ）、ヨシクラス、水田雑草群落等に生育する植物を生産者として、第一次消費者としてはセミ類やバッタ類、ガ類やチョウ類等の草食性の昆虫類や、ユキウサギ等の草食性の哺乳類が、第二次消費者としてはトンボ類、クモ類等の肉食性昆虫類等が存在する。また、第三次消費者としてはキタリス（エゾリス）、ヒメネズミ等の哺乳類やキビタキ等の鳥類、エゾアカガエル等の両生類が、第四次消費者としてはタヌキ等の哺乳類、モズ等の鳥類、シマヘビ等の爬虫類が存在すると考えられる。さらに、低次消費者を餌とする高次消費者として、ヒグマ等の哺乳類やオジロワシ等の猛禽類が存在すると考えられる。

水域の生態系では、付着藻類等を生産者として、第一次消費者である底生動物が、ニホンアマガエル等の両生類やエゾウグイ等の魚類に捕食される。さらに、これらを餌とするアオサギ、ミサゴ等の鳥類が存在すると考えられる。

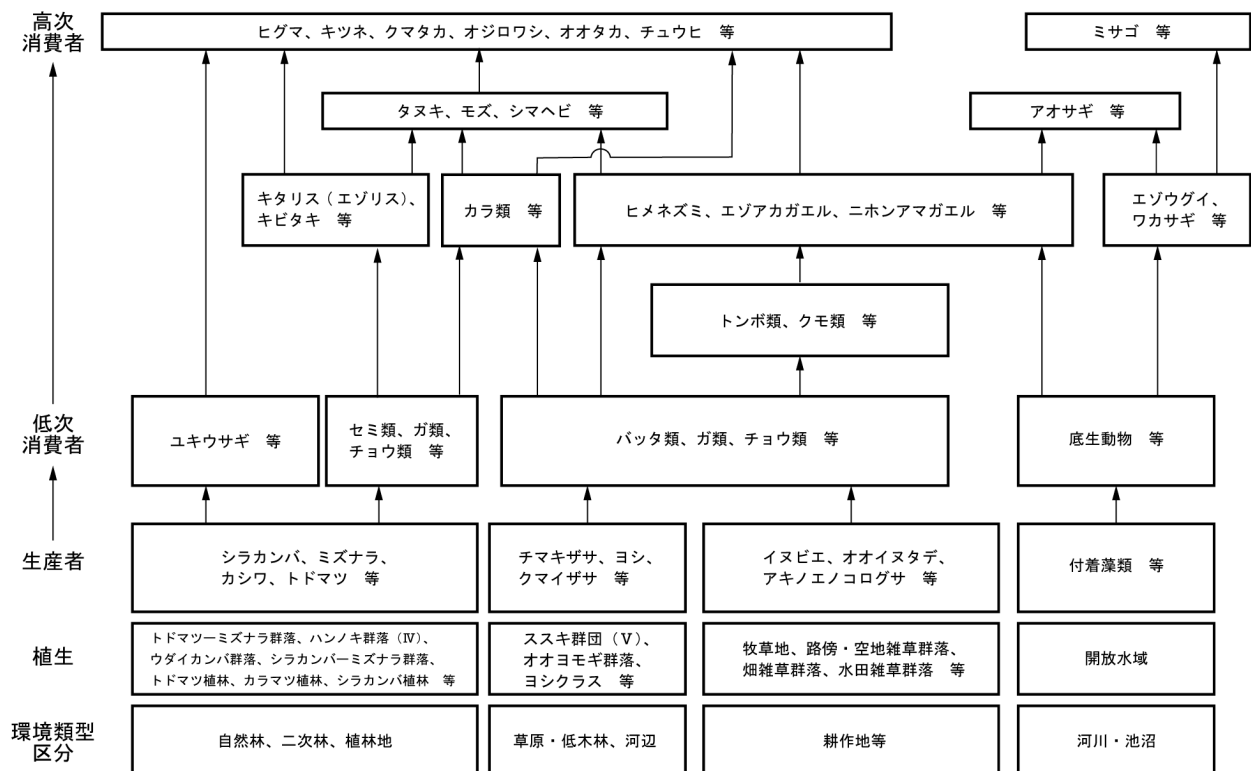
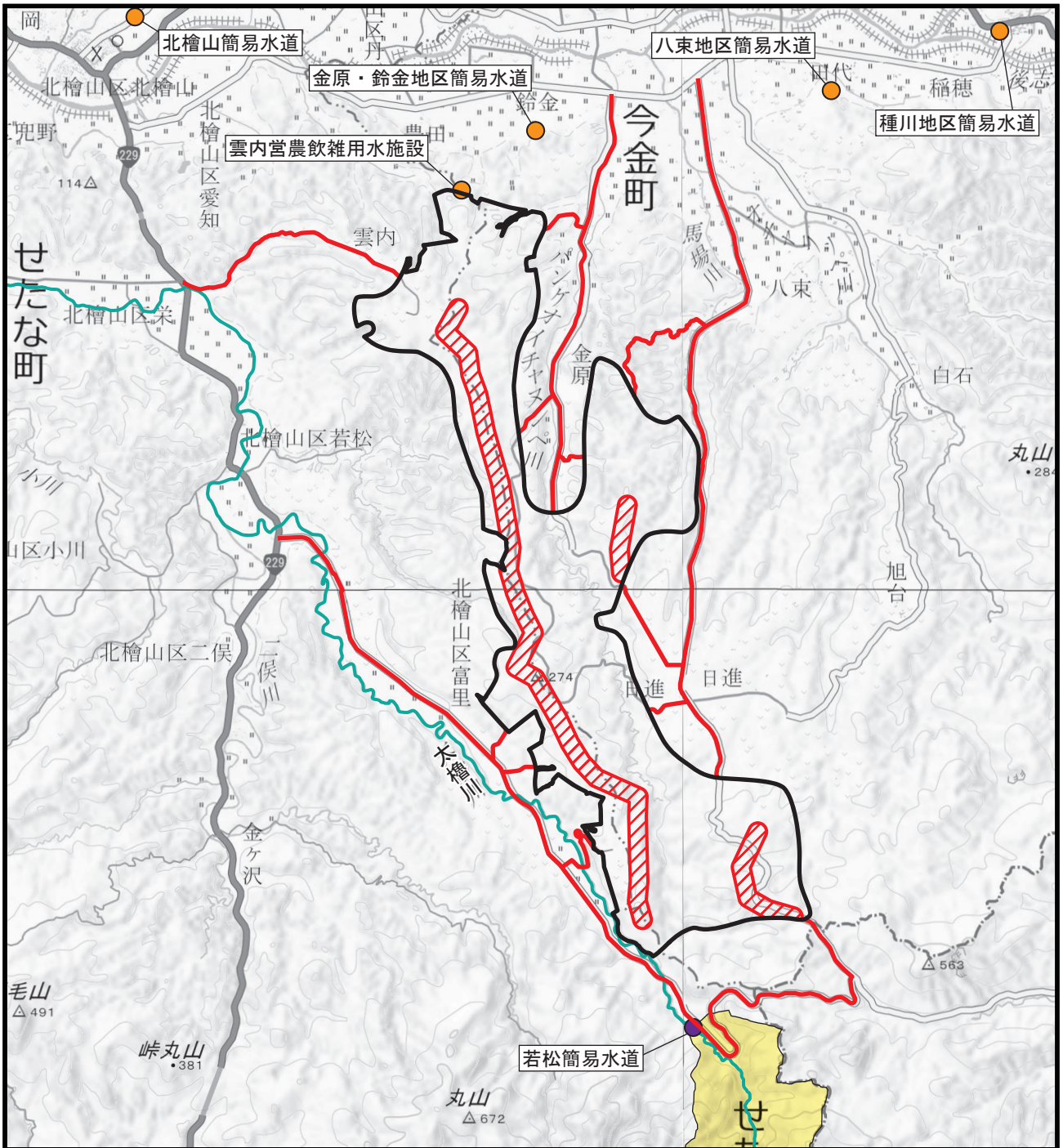









図 3.1-30 食物連鎖模式図



凡 例

-  対象事業実施区域
-  対象事業実施区域  
(道路造成(既存道路の部分的な改変)のみ可能性のある範囲)
-  風力発電機の設置予定範囲
-  表流水
-  深井戸
-  河川
-  集水域

1:105,000

